

～京都橋大学における地域連携の実績～

2014年	4月	京都橋大学地域連携推進機構発足。
		「第9 回京都さくらよさこい」の舞台で、本学学生が龍神伝説の舞を披露。(4/28)
	5月	「ラ・フォル・ジュルネ びわ湖2014」(クラシック音楽の祭典)で、都市環境デザイン学科の学生が会場ボランティアとして活躍。(5/2 ～ 5/3)
		心理臨床センター主催、「パパとママのこころ育て広場」第1回開催。(5/24)
		山科区主催、山科について語りあう「やまなしGOGO カフェ」に、げんKids ★ 応援隊が参加。(5/24)
	6月	山科商店街主催、「こどもフェスタ2014」に、かるた同好会、京都子ども守り隊～守るんジャー～、げんKids ★ 応援隊、救急救命研究会:TURF の4 団体が参加。(5/25)
		京都橋大学・救急救命研究会:TURF、げんKids ★ 応援隊が、今年も「山科“きずな”支援事業」の継続事業に採択される。
	7月	第10 回こどもの文化フォーラムで、現代ビジネス学部ゼミ生が、運営に参加。
		「平成24 年度大学間連携共同教育推進事業」採択事業・京都の地域資源の再評価とそれを応用したビジネスモデルの提案を行う。(6/29)
		山科の伝統産業清水焼を活かした、あかりイベント「第6 回七夕陶灯路」を本学キャンパスで開催。(7/4)
	8月	心理学科の学生が、滋賀県守山市で開催の『第3 回まちゼミキッズ』に参加。(7/19)
		山科区との共催により、山科の歴史、文化、産業等を学ぶ講座「第1 回山科カレッジー琵琶と山科」を開催。(7/19)
		山科区との共催により、山科の歴史、文化、産業等を学ぶ講座「第2 回山科カレッジー清水焼団地の見学と湯呑の絵付け体験」を開催。(8/2)
	9月	山科こころの健康を考える会主催「山科こころのふれあい夏まつり」で看護学部学生がゲームコーナーを担当。(8/11)
		現代ビジネス学部院生有志、山科区四ノ宮十禅寺・ミュージックサロンYOSHIKAWA にて「琵琶の音鑑賞会」を開催。(8/22)
	10月	理学療法学科が、健康促進活動として、市内65 歳以上400 名の体力・認知力調査を実施。
		山科区エコアクションNo.1 宣言 2014 環境イベントで、京都橋大学生協の学生委員有志による、かえっこバザールを実施。(9/13)
	11月	第7 回やまなし駅前陶灯路が開催され、学生たちが運営や緊急時対応の中心となって活躍。(10/11)
		丹波市水害地域支援ボランティア活動を実施。現代ビジネス学部の学生たちが運営や緊急時対応の中心となって活躍。(10/12)
		京都中央信用金庫主催「中信ビジネスフェア」にブース出展。(10/15)
		地域連携センター主催「第3 回橋セッションー醍醐地域との連携を考えるー」を開催。(10/15)
		清水焼の郷まつりで、学生が活躍。(10/17 ～ 19)
		2014 年度第1 回「京都橋大学山科(醍醐)地域教育懇話会」を開催。(10/22)
		大学祭で、看護学部教員と学生による「たちばな健康相談」および、児童教育学科有志による「たちばなちびっこランド」を開催。(10/26)
京都市、醍醐中山団地町内連合会と「京都市、京都橋大学及び醍醐中山団地町内連合会の地域連携事業に係る協定書」を締結。(10/30)		
12月	山科三条街道商店会「わくわくフェスティバル」にボランティアスタッフとして参加。(11/15)	
	ふれあい“ やまなし”2014 区民まつりで京都橋大学放送研究部が司会を担当。(11/23)	
	「第10 回京都から発信する政策研究交流大会」で本学学生および大学院生が京都府知事賞と京都市長賞を受賞。(12/7)	
	理学療法学科の教員と学生、滋賀県野洲市の高齢者対象体力測定報告会を実施。(12/9)	
	学生食堂に寄付金付きメニューが始まる。NPO 法人「山科醍醐こどものひろば」の貧困対策事業に寄付。(12/11)	
2015年	地域連携センター主催「第4 回橋セッションー山科区老人クラブ連合会に支えられた看護学部…そしてこれからの10 年」開催。(12/24)	
	滋賀県草津市との包括協定締結。子育て支援の充実を軸とする連携事業を開始。(12/25)	
2015年	1月	学生有志、滋賀県守山市で開催の『第3回まちゼミキッズ』の手伝いをする。(1/17)
		看護異文化交流・社会連携推進センター主催、公開講座「生活にいかそうリラクゼーション」を開催。(1/21)
		現代ビジネス学部学生有志、わいわいハウス・ボラキナソにて「めくるめく紙芝居」ワークショップ開催。(1/25)
		醍醐中山団地「地域連携センター分室」および「国際シェアルーム」の改装工事に、本学建築コースの学生が参加。(2/9)
2月	地域連携センターの公式フェイスブックを開始。	

～京都橋大学における地域連携の実績～

2015年	3月	本学学生と教員151名が、「京都マラソン2015」の医療救護サポーターとして活躍。
		醍醐中山団地における「地域連携センター分室」「国際シェアルーム」の開設を前に、同施設内覧会を開催。
		2014年度第2回「京都橋大学山科(醍醐)地域教育懇話会」を開催。(3/20)